2021年生まれ 大集合

今年は丑年。今回の特集では滝川市の丑年の皆さんを新年の抱負と共にご紹介します。

秋 田谷 香歩さん

2009年（平成二十一年）生まれ

挨拶がしっかりとできる明るく元気な学校をつくりたいという思いを実現するため、児童会長に立候補した江部乙小学校の秋田谷香歩さん。

幼いころ喘息で苦しい思いをした経験があり、そのときに助けてくれたお医者さん達に憧れを抱いたことから、将来は医療従事者を目指しているそうです。

そんな秋田谷さんの中学校での目標は文武両道。「勉強はもちろん、ソフトテニス部に入って、部活動も頑張りたいです。」と意気込みを見せてくれました。

「趣味は、週に1度クラブチームで行うソフトテニスと、3年生のころに始めた百人一首です。」と教えてくれた秋田谷さん。毎年冬に開催される「かるた大会」では5年生のときに優勝を果たし、空知大会に出場した経験もあるそうです。

砂 原康二・萌永さん

1997年（平成九年）生まれ

砂原康二さん・萌永さんは、高校在学中にお付き合いをはじめ、付き合って5年目の記念日に康二さんからプロポーズ。2019年9月に入籍しました。

夫・康二さんと妻・萌永さんは共に滝川西高等学校情報ビジネス科（現情報マネジメント科）出身。早生まれの萌永さんと康二さんはソフトテニス部で、先輩後輩の間柄だったそうです。「今年よりも来年、来年よりも再来年を良い年にできるように、これからも二人で頑張ります。」と二人で一つの抱負を掲げました。

当初、2020年6月に結婚式を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、式の延期を決定。「コロナ禍が終息したら、お世話になった人をたくさん集めて、盛大な結婚式を挙げたいです！」と語ってくれました。

この人が生まれた年の滝川市では…

【ファミリーサポートセンター開所】

ほかにも…
・シィービーツアーズ滝川営業所オープン

【滝川消防公設100年】

ほかにも…
・滝川ふれ愛の里オープン
・栃木市との友好親善都市盟約15周年

滝川市の2020 振り返り

【1月】
・「羊神ジンギリバー」が一日警察署長に任命

【2月】
・降雪量観測史上最少を記録（67㎝、平年比62％）

【3月】
・モンゴル国ウブルハンガイ県へ消防車寄贈

【4月】
・道の駅たきかわリニューアル
・滝川キャンプサイト「まるごとそらち」オープン

山 内 晃司さん

1985年（昭和六十年）生まれ

山内晃司さんは札幌の大学を卒業後、「民営化一期生」として日本郵便に入社し、滝川郵便局に配属されました。入社当初は配達員として、地元である市内を駆け巡っていたそうです。「慣れ親しんだ市内ではありましたが、バイクでの移動は慣れていなかったので苦労しました。」と新人時代を振り返る姿も。

年末年始について、「忙しい日が続きますが、同時に社内の活気があふれる時期でもあるので、とてもやりがいを感じています。」と明るく話してくれました。

現在は主に郵送のバックアップなど、職員のサポートをしている山内さん。「さまざまな部署の職員が円滑に仕事を進められるよう、日頃から意識しています。後輩職員も多くなってきたので、周りから頼られる存在になりたいですね。」

上 田 智雄さん

1973年（昭和四十八年）生まれ

横浜市の民間企業に就職後、実家の農業を継承するため、地元である江部乙町にUターンした上田智雄さん。自分たちが作るお米を直接消費者の方々へ届けたいという思いから、2009年に若手農業者グループ『大地の匠』を設立しました。お米以外にも大豆やトマトなど多様な作物を栽培し、日々の食卓を支えています。繁忙期は全神経を農業へ集中させたいと考えており、全回復の「全」には、全ての農家が豊作になりますようにという願いが込められているそうです。

男の子2人と、女の子1人のお子さんを持つ上田さんが、特に大切にしているのは家族とのおうち時間です。「夏は農作業で朝から晩まで外に出ているので、冬は子どもとの時間を大切にしています。」と優しいお父さんとしての一面も。

【第1回滝川しぶき祭開催】

ほかにも…
・身体障害者福祉センターおよび地域ふれあいセンターオープン

【高林デパートオープン】

◀1979年の様子

ほかにも…
・文化センターおよび旧市立図書館オープン